

令和8年度

学生募集要項

(総合型選抜(自己推薦入試))

芸術・スポーツ文化学科
芸術・スポーツビジネス専攻
美術文化専攻
スポーツ文化専攻
〔岩見沢校〕

令和7年9月

北海道教育大学

目 次

北海道教育大学教育学部教員養成課程の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	1
1 自己推薦入試で求める人物像	10
2 募集人員	11
3 出願資格	11
4 出願手続	12
5 障がいがある等の入学志願者の事前相談等	15
6 選抜方法	16
7 実技, 小論文, 面接の内容	16
8 選考日程	18
9 受験上の注意	18
10 入学試験における不正行為について	19
11 合格者の発表	19
12 入学辞退, 不合格になった場合の特別選抜及び一般選抜(個別学力検査等)への出願	19
13 入学手続	19
14 授業料	20
15 入学時における麻しん(はしか)・風しん等ワクチン接種歴の確認について	20
16 受験に関する問い合わせ	20
17 入学試験成績等の開示について	21
18 個人情報の取扱いについて	21
試験会場位置図	22
北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則	22
「北海道教育大学基金」による奨学金について	24
高等教育の修学支援制度(入学金・授業料の減免, 給付奨学金)	24
入学金・授業料の徴収猶予制度	25
日本学生支援機構奨学金について(貸与奨学金)	25

北海道教育大学教育学部芸術・スポーツ文化学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）

（令和2年5月21日改正）

（令和4年3月24日改正）

（令和7年4月1日改正）

（求める学生像）

芸術・スポーツ文化学科では、芸術・スポーツ文化を多面的に追究し、地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材の養成を目指していることから、「芸術文化、スポーツ文化がもつ多面的な価値を追究し、その効用を様々な文化活動を通して、人々の生活に還元し、地域の活性化や心豊かな生活環境の創造に関わろうとする人」を求めます。

○芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツビジネス専攻では、芸術・スポーツ文化を生かしたマネジメントの知識や組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通じた地域活性化やまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 芸術・スポーツのビジネス研究を通じて、芸術・スポーツ文化振興に貢献することを目指す人
- 2 芸術・スポーツ活動の企画や運営などを創造的に展開できる資質をもつ人
- 3 国際的な芸術・スポーツビジネスへの関心をもち、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人

また、芸術・スポーツビジネス専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 社会及び地域における課題への関心並びにそれらの課題を解決するための論理的思考力
- 2 芸術・スポーツビジネスに関する知識を主体的に学ぶ態度

○音楽文化専攻

音楽文化専攻では、音楽文化による地域の活性化を促すことができるとともに、音楽に関する専門的な知識、技法及び技能をもち、自らの創作活動を発信し、音楽文化を地域社会に広める人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 音楽文化全般を深く愛する熱意のある人
- 2 人の心に音楽のメッセージを届けることについて、積極的に展開したいと思う人
- 3 演奏や創作などの音楽活動を展開できる優れた資質をもつ人

また、音楽文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した音楽の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な音楽の知識及び演奏能力並びに主体性をもって学ぶ態度

○美術文化専攻

美術文化専攻では、美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、確かな技術・諸問題を切り拓く構想力を有する人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 美術文化に対する関心や探究心を有し、基礎的な造形能力や探究心に富む人
- 2 美術に関するあらゆる事柄について研究を重ね、社会と芸術文化の新しい関わり方を提案・実践することに意欲的な人
- 3 美術に関する専門知識、高い技能や表現力を身に付け、社会をリードする指導者となることを目指す人

また、美術文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した美術科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な美術の知識及び実技能力並びに主体性をもって学ぶ態度

○スポーツ文化専攻

スポーツ文化専攻では、スポーツ文化を地域社会に広め、スポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識、技能を有し、スポーツ指導ができる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 スポーツ文化への関心や探究心をもち、基礎的な体力・運動能力を有し、それらの向上を目指す人
- 2 スポーツ競技能力の向上や指導力育成、そして、運動・スポーツの科学的探究を通じて文化創造に貢献することを目指す人
- 3 野外環境教育を通じて、自然と人間の関係を理解し、その良好な在り方の探究・実現に向けて行動することを目指す人

また、スポーツ文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した保健体育科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的なスポーツの知識及び技能や、自然と人の関係や環境をめぐる諸問題についての基礎的な知識及び多様な価値観
- 3 上記1及び2に基づいた思考力並びに主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

(入学者選抜の基本方針)

芸術・スポーツ文化学科の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、受入学生に求める具体的な学習成果(学力の3要素)及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表3のようになります。

○芸術・スポーツビジネス専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 社会及び地域における芸術・スポーツのビジネス研究並びに文化振興への関心度、創造性及び企画・運営に必要な問題発見・課題解決能力(発想・思考・情報活用・判断・表現・言語・構成)については、「個別学力検査等(実技)」の成績
- (3) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「面接」の結果、「調査書」及び「活動実績書」の内容

【総合型選抜(自己推薦入試)】

総合型選抜(自己推薦入試)については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で芸術・スポーツビジネスを学ぶためにグローバルな視点及び計画性、新たな価値を生む創造性並びに表現力を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 芸術・スポーツビジネスを学ぶための計画性及び意欲については、「調査書」、「自己推薦書」及び「学修計画書」の内容

○音楽文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等(実技)」の成績
- (2) 学習成果(学力の3要素)等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で音楽を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」の成績
- (2) 音楽を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、 「自己推薦書」及び「調査書」の内容

○美術文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で美術を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」又は「小論文」の成績
- (2) 美術を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「自己推薦書」の内容及び「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、「ポートフォリオ」及び「調査書」の内容

○スポーツ文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績

(2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) スポーツ文化を専門に学ぶために必要な知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「小論文」の成績、「面接（口頭試問含む）」の結果
- (2) スポーツ文化を専門に学ぶための意欲や技能及び表現力を有していることについては、「自己推薦書」及び各種「活動歴」の内容
- (3) スポーツ文化を専門に学ぶためにふさわしい主体的な態度及び豊かな人間関係を築くことができる協働性やコミュニケーション能力を有していることについては、「面接（口頭試問含む）」の結果

※特別選抜（帰国子女入試，社会人入試，私費外国人入試，編入学入試）については，教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は，令和7年4月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【芸術・スポーツ文化学科 芸術・スポーツビジネス専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査	○	○	○	◇	
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		活動実績書*	○	○	○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○			
	自己推薦書*	○		○	◇		
	学修計画書*	○	○	○	○		
	調査書*		◇	◇	◇		

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一般 選 抜	前期 日 程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査		○	○		
		調査書※		◇	◇	◇	
	後 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査		○	○		
		面接	○		○	○	
		調査書※		◇	◇	◇	
学 校 推 薦 型 選 抜	面接			○	○		
	実技検査		○	○			
	(作品審査)		○	○		作曲コース	
	推薦書※	◇	◇	◇	◇		
	自己推薦書※	◇	◇	◇	◇		
	調査書※		◇	◇	◇		

(注) ※ 提出書類を示す。
() は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		調査書※		◇	◇	◇
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		面接	○		○	○
	調査書※		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	実技検査又は小論文		○	○		
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
	ポートフォリオ※	○	○	○		
	自己推薦書※	◇	◇	◇	◇	
	調査書※		◇	◇	◇	

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 スポーツ文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資

料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査		○	○		
	日程	面接	○		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
	後期	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		実技検査		○	○		
		面接	○		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	小論文		○	○			
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇		
	調査書*		◇	◇	◇		
	スポーツに関する活動実績書*		◇				
	自然体験活動，野外教育，環境教育， 野外活動に関する活動歴*		◇				

(注) ※ 提出書類を示す。

令和8年度 北海道教育大学入学試験日程等一覧

種 別		出願受付期間	学力検査日等	合格発表日	入学手続期間	備 考	
学 部	一 般 選 抜	前期日程	令和8年2月25日(水) ～2月27日(金)	令和8年3月7日(土)	令和8年3月8日(日) ～3月15日(日)	追加合格 令和8年3月28日(土)	
		後期日程	令和8年1月26日(月) ～2月4日(水)	令和8年3月12日(木) ～3月13日(金)	令和8年3月23日(月)		令和8年3月24日(火) ～3月27日(金)
	総 合 型 選 抜	教員養成特別入試	令和7年9月10日(水) ～9月17日(水)	令和7年10月25日(土) ～10月26日(日)	令和8年2月10日(火)	令和8年2月11日(水) ～2月18日(水)	札幌・旭川・釧路のみ 第1次合格発表 令和7年10月1日(水)
		自己推薦入試	令和7年10月10日(金) ～10月17日(金)	令和7年11月22日(土) ～11月23日(日)	令和7年12月5日(金)	令和8年2月11日(水) ～2月18日(水)	岩見沢校のみ
	学 校 推 薦 型 選 抜	一 般	令和7年11月4日(火) ～11月10日(月)	令和7年11月22日(土) ～11月23日(日)	令和7年12月5日(金)	令和8年2月11日(水) ～2月18日(水)	釧路校のみ
		地域指定		(地域指定は11月23日)			

※ 大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)～1月18日(日)

入学試験及び入学料減免等に関する問い合わせ先

修学校	郵便番号	所 在 地	入 学 試 験 関 係		入 学 料 減 免 等 関 係	
			担 当	電 話 番 号	担 当	電 話 番 号
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘 2丁目34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348	教育支援グループ	0126-32-0443

災害等による選抜方法等の変更について

この学生募集要項発行後、災害発生や治療法が確立していない感染症の拡大等に伴い、やむを得ず、試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。

出願受付期間終了後、上記の変更を行う場合、志願者への個別連絡のほか、本学ホームページ「入試情報」(<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)で変更内容をお知らせしますので、最新の情報を確認するようご注意願います。



1 自己推薦入試で求める人物像

○芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツビジネス専攻では、芸術・スポーツ文化を生かしたマネジメントの知識や組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通じた地域活性化やまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 芸術・スポーツのビジネス研究を通じて、芸術・スポーツ文化振興に貢献することを目指す人
- 2 芸術・スポーツ活動の企画や運営などを創造的に展開できる資質をもつ人
- 3 国際的な芸術・スポーツビジネスへの関心をもち、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人

○美術文化専攻

美術文化専攻では、美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、確かな技術・諸問題を切り拓く構想力を有する人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 美術文化に対する関心や探究心を有し、基礎的な造形能力や探究心に富む人
- 2 美術に関するあらゆる事柄について研究を重ね、社会と美術文化の新しい関わり方を提案・実践することに意欲的な人
- 3 美術に関する専門知識、高い技術や表現力を身に付け、社会をリードする指導者となることを目指す人

○スポーツ文化専攻

スポーツ文化専攻では、スポーツ文化を地域社会に広め、スポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識、技能を有し、スポーツ指導ができる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 スポーツ文化への関心や探究心をもち、基礎的な体力・運動能力を有し、それらの向上を目指す人
- 2 スポーツ競技能力の向上や指導力育成、そして運動・スポーツの科学的探究を通じて文化創造に貢献することを目指す人
- 3 野外環境教育を通じて、自然と人間の間関係を理解し、その良好な在り方の探究・実現に向けて行動することを目指す人

2 募集人員

実施校	募集専攻・コース	募集人員
岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻	8人
	美術文化専攻	20人
	スポーツ文化専攻	22人

※各専攻等が定める合格基準に満たない場合は、不合格とします。

合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜の前期日程又は後期日程試験の募集人員に加えます。

3 出願資格

高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する者）により令和7年度途中で、高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を含みます〕で、次の各号に該当するもの。

○芸術・スポーツビジネス専攻

- 1 芸術・スポーツビジネス分野に適した資質を有し、地域の芸術・スポーツ活動展開に意欲と情熱をもつ者
- 2 合格した場合、入学を確約できる者

○美術文化専攻

- 1 美術分野に適した資質を有し、地域の芸術・文化の向上に意欲と情熱をもつ者
- 2 合格した場合、入学を確約できる者

○スポーツ文化専攻

- 1 スポーツ分野に適した資質と優れた実績を有し、スポーツ文化の普及及びスポーツ活動による地域活性化に意欲と情熱をもつ者
- 2 合格した場合、入学を確約できる者

4 出願手続

本学ホームページにて、インターネット出願（以下「出願サイト」という。）の具体的な手順を説明しています。

出願前に必ずご覧ください。

([shutsugan25_hokkyodai_01https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000200/00000285/20250918_%E5%87%BA%E9%A1%98%E3%81%AE%E6%B5%81%E3%82%8C](https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00000200/00000285/20250918_%E5%87%BA%E9%A1%98%E3%81%AE%E6%B5%81%E3%82%8C))

出願サイトによる出願及び出願書類の郵送（または持参）の両方が必要となります。出願サイトの出願手続き及び、出願書類の郵送（または持参）の両方が完了しないと出願受付にはなりませんのでご注意ください。

○事前に準備が必要なもの

- ・メールアドレス（出願サイト登録用）
- ・提出用出願書類等出力環境（プリンターなど）

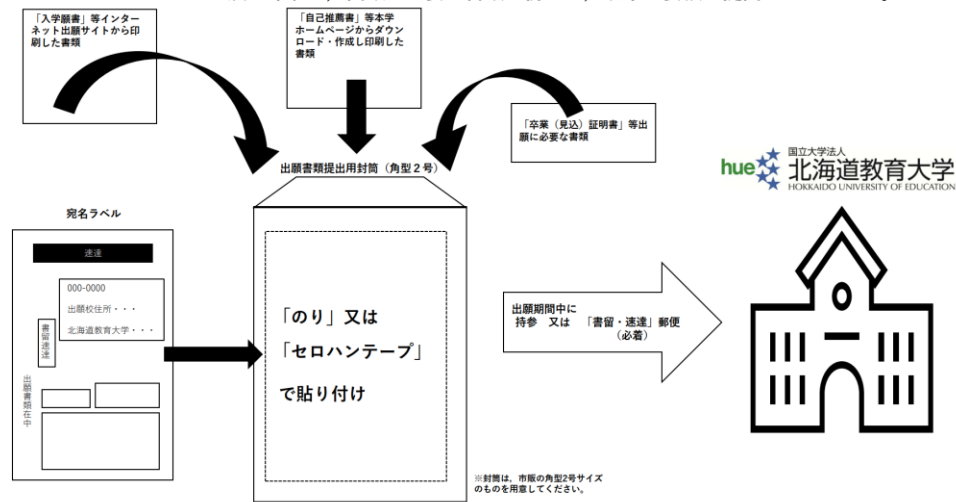
○インターネット出願登録開始（マイページへの登録等）

出願サイトURL (<https://e-apply.jp/ds/hokkyodai-net/>)



○システムについてのお問い合わせ先 0120-202079（サポートセンター）

志願情報の登録、検定料等の支払後にマイページにログインして、「入学願書」「宛名ラベル」のPDFファイルをダウンロード及び印刷し、出願に必要な書類と併せて、以下の要領で提出してください。



（美術文化専攻はA3が入るサイズの定形外封筒や、レターパックも可）

(1) 出願書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入学志願票 〔本学所定様式〕	出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください。 (A4判片面印刷としてください)
2 自己推薦書 〔本学所定様式〕	本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして、作成してください。 なお、作成にあたっては、行数等の様式の変更は行わず、自分自身で考えて作成してください。 また、生成AIの使用は認めません。

<p>3 調査書</p>	<p>出身学校長が作成し、厳封されたものを提出してください。</p> <p>指導要録の保存期間が経過した場合、又は、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書又は成績通信簿を提出してください。</p> <p>高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の合格者で調査書が得られない場合は、合格証書のコピー又は合格証明書、及び成績証明書を提出してください。（高等学校卒業程度認定試験合格者等で受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目を履修した高等学校等の成績証明書を提出してください。）</p>
<p>4 学修計画書</p> <p>[芸術・スポーツビジネス専攻のみ]</p>	<p>本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp) から様式をダウンロードして、作成してください。</p> <p>なお、作成にあたっては、行数等の様式の変更は行わず、自分自身で考えて作成してください。</p> <p>また、生成AIの使用は認めません。</p>
<p>5 ポートフォリオ (作品ファイル)</p> <p>[美術文化専攻のみ]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載作品のジャンルは問いません。 ・掲載作品数は20点以内とします（ページ数は問いません）。 ・作品には通し番号を付してください。 ・作品の写真を掲載する場合はカラーでキャビネ判以上の大きさとします。写真はプリンター印刷でも構いませんが、その際は写真プリント用紙を使用してください（普通紙は不可）。 ・作品の写真のそれぞれに「題名」、「寸法」、「素材」、「技法」、「作品の解説」等を明記してください。グループ制作の場合は、自分の関わり方について触れること。 ・ファイルの大きさはA3までとし、一冊にしてください（形式は問いません。）。 ・ポートフォリオに映像資料をつける場合は、指定のフォーマット（H. 264コーデックで圧縮されたMOV, MP4）のデータを収めたUSBメモリかDVD（データ用）1点を添付してください。また、その映像資料の作品内容（内容を解説する文章、制作担当、写真、制作年や再生時間等の情報）も必ずポートフォリオに載せてください。 ・ホームページやコンピュータゲームなどデジタルコンテンツの場合は、ポートフォリオにその内容がわかるように図説したものを含めてください。 ・作品だけではなく、美術に関わる特記する活動があれば、含めてもかまいません。 ・提出されたポートフォリオは返却いたしません。 <p>なお、作成にあたっては、自分自身で考えて作成してください。また、生成AIの使用は認めません。</p> <p>■ポートフォリオを送付する場合の注意</p> <p>出願書類と同じ郵便でポートフォリオを送付してください。</p> <p>郵送方法は定型外普通郵便（書留・速達）、またはレターパックとする。（ゆうパックや宅配便等によるものは受け付けません。）</p>
<p>6 証明書 (本学所定様式)</p> <p>[美術文化専攻のみ]</p>	<p>本学ホームページの募集要項のページ（以下のURL）(https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/faculties/exam/download/) から様式をダウンロードし、ポートフォリオの掲載作品が志願者本人の作成したものであることの証明書（志願者以外の第三者が自署により証明したもの。）をポートフォリオに添付し、提出してください。</p>
<p>7 スポーツに関する 活動実績書 (本学所定様式)</p> <p>[スポーツ活動実績型 区分のみ]</p>	<p>本学ホームページの募集要項のページ（以下のURL）(https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/faculties/exam/download/) から様式をダウンロードし、高等学校入学以降の最も優れた活動・競技実績について、(1)国際大会、(2)全国大会、(3)それ以外の大会別に、最も優れた実績を各1件まで、志願者本人が詳細に記載（入力）してください。団体競技においては、自己が試合に出場したか否かを明記してください。</p> <p>なお、作成にあたっては、行数等の様式の変更は行わず、自分自身で考えて作成してください。また、生成AIの使用は認めません。</p>

<p>8 自然体験活動，野外教育，環境教育，野外活動に関する活動歴 (本学所定様式) [野外環境教育実績型区分のみ]</p>	<p>本学ホームページの募集要項のページ (以下のURL) (https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/faculties/exam/download/) から様式をダウンロードし，自然体験活動，野外教育，環境教育，野外活動に関する活動歴について，過去（小・中学校時代を含む）から現在までの学校（部活動を含む），地域及び団体における活動などの内容がわかるように，志願者本人が詳細に記載（入力）し，本人以外で内容を証明できる成人が所定の欄に自署により証明してください。</p> <p>なお，作成にあたっては，行数等の様式の変更は行わず，自分自身で考えて作成してください。また，生成AIの使用は認めません。</p>
<p>9 証明書等貼付用紙 (本学所定様式) [美術文化専攻，スポーツ文化専攻]</p>	<p>1 美術文化専攻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己推薦書(2)活動履歴」に記載した活動内容・資格等について，証明書等がある場合は，本学所定の用紙に書類のコピーを貼付し提出してください。 ・書類は縮小コピー等で整理して貼付し，重ねたり，折りたたんだりして貼付しないようにしてください。また，貼付する書類がない場合も必ず提出してください。 <p>2 スポーツ文化専攻 (スポーツ活動実績型区分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動実績書」に記載した活動・競技実績の中で，志願者が優れたと判断する2件以内を証明する書類（コピー）を貼付してください。また，団体競技においては，その書類で自己が試合に出場したか否かを証明してください。3件以上の実績に関する資料を貼付した場合には，評価しません。 ・指導者による証明書の場合は，指導者の氏名，所属，受験生との関係を明記し，指導者が署名してください。 ・書類は縮小コピー等で整理して貼付してください。重ねたり，折りたたんだりして貼付しないようにしてください。 <p>(野外環境教育実績型区分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動，野外教育，環境教育，野外活動に関する資格がある場合は，それを証明する書類のコピーを本学所定用紙に貼付して提出してください。 ・指導者による証明書の場合は，指導者の氏名，所属，受験生との関係を明記し，指導者が署名してください。 ・書類は縮小コピー等で整理して貼付してください。重ねたり，折りたたんだりして貼付しないようにしてください。 <p>様式は，本学ホームページの募集要項のページ (以下のURL) (https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/faculties/exam/download/) よりダウンロードできますので，データを入力し，印刷したものを提出してください。</p>

※本学ホームページからダウンロードし作成する出願書類については，指示がある場合を除き，PC入力により作成してください。

(2) 入学検定料の支払い方法について

入学検定料 17,000円

インターネット出願サイトに表示される入学検定料支払画面に従い，お支払いください。

なお，支払方法は以下のとおりです。

- ① クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFJカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード)
- ② ネットバンキング (Pay-easy (ペイジー) 決済等)
- ③ コンビニエンスストア (ローソン, ファミリーマート, セブン・イレブン, セイコーマート, デイリーヤマザキ, ヤマザキデイリーストアー, ミニストップ)

※入学検定料の支払いには，別途手数料がかかります。手数料は，支払人負担となります。

(3) インターネット出願登録及び入学検定料等振込開始日 令和7年10月3日(金) 午前10時00分～

(4) 出願受付期間

令和7年10月10日（金）～10月17日（金）（必着）

出願書類は「書留・速達」郵便又は持参にて提出してください。

ただし、令和7年10月15日（水）までの消印があるものは、10月17日以降に到着したのもも受理します。

持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。（土・日・祝日を除きます。）

なお、全ての書類が本学に到着し、不備等がないことが確認できた時点をもって出願手続完了となります。ネットワークのトラブル等による出願の遅れには対応はできませんので、時間に余裕を持った出願をお願いします。

(5) 出願受付場所

北海道教育大学岩見沢校教育支援グループ

【〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1 電話 0126-32-1348】

(6) 注意事項

ア 出願書類に不備がある場合は、これを受け付けません。

イ 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

ただし、入学検定料を払い込んだが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ（電話：011-778-0324）に申し出た場合に、返還します。

ウ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。

ただし、出願後「住所・電話番号」に変更があった場合は、直ちに連絡してください。

エ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

オ 受験票は、令和7年10月24日（金）午前9時00分に出願サイトからダウンロードが可能となります。

受験票が令和7年10月24日（金）午後3時00分までに表示されなかったときは、電話で問い合わせてください。また、試験当日は、各自で印刷（A4判用紙）し、試験当日に必ず持参してください。

カ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、自己推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

5 障がいがある等の入学志願者の事前相談等

障がいがある等の理由により、受験上及び修学上に不安を感じる、あるいは配慮を必要とする志願者に対して、事前相談を実施いたしますので、令和7年10月17日（金）までに岩見沢校教育支援グループへお申し出ください。

また、事前相談の結果、さらに詳細な相談が必要となった場合には、原則として以下のイのように対応いたします。

ア 事前相談

電話等で相談を承ります。その際、医師の診断書等を提出していただく場合があります。

イ 詳細な相談

本学において、本学職員と、志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との間で、面談等を実施いたします。

なお、事前相談や詳細な相談は、適切な受験環境を整えるため、あるいは、入学後の修学環境を充実させるためのものであり、合否判定には一切影響いたしません。

障がいがある等の入学志願者数・入学者数（全選抜合計）

入学年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
志願者数	3 名	0 名	5 名
障がい区分	肢体不自由者 聴覚障害		視覚障害 聴覚障害 その他
入学者数	2 名	0 名	5 名
障がい区分	肢体不自由者 聴覚障害		視覚障害 聴覚障害 その他

受験における特別な配慮（例）

- ・車いすの持込，利用の許可
- ・別室の設定
- ・拡大問題冊子の配布
- ・試験時間の延長
- ・筆記補助具の持込，利用許可
- ・トイレに近い試験室を設定
- ・書見台，ルーペ等の持込許可

6 選抜方法

(1) 芸術・スポーツビジネス専攻

「自己推薦書」，「調査書」，「学修計画書」，「面接（口頭試問及び「学修計画書」に基づくプレゼンテーションを含む。）」により，総合的に判定します。

(2) 美術文化専攻

「自己推薦書」，「調査書」，「実技検査又は小論文」，「ポートフォリオ」，「面接（口頭試問を含む。）」により，総合的に判定します。

(3) スポーツ文化専攻

「自己推薦書」，「調査書」，「スポーツに関する活動実績書（活動実績を証明する書類を含む。）」または「自然体験活動，野外教育，環境教育，野外活動に関する活動歴」，「小論文及び面接（口頭試問を含む。）」により，総合的に判定します。

スポーツ活動実績型区分の受験者から総合得点順に18名を選抜します。また，野外環境教育実績型区分の受験者から3名を選抜します。その後，区分に関わらずに総合得点の高得点順に1名を選抜します。なお，この受験区分は，入学後に選択するコースと関係ありません。

(4) 大学入学共通テストは，課しません。

7 実技，小論文，面接の内容

(1) 芸術・スポーツビジネス専攻

○ 面接（口頭試問及び「学修計画書」に基づくプレゼンテーションを含む。）

- ・試験時間 約45分（プレゼンテーション（発表10分以内，準備5分程度）），個人面接（30分程度）

・評価基準

- ア 芸術・スポーツビジネス専攻への志望動機が明確で，勉学意欲，目的意識が高いこと。
- イ 質問内容に即して的確に回答又は適切に対応できること。
- ウ 一般常識を持ち，社会性及びコミュニケーション能力を持っていること。
- エ 芸術・スポーツ文化分野の国際的なビジネスに関して，強い関心を持っていること。
- オ 芸術・スポーツ文化分野のビジネスに関して，将来的な活動目標を持っていること。

(2) 美術文化専攻

○ 実技検査又は小論文

デッサン（3時間），書（3時間），小論文（2時間）より1つ選択してください。

※上記試験科目は，入学後の研究室への所属を保証するものではありません。

- 面接（口頭試問を含む。）
 - ・面接時間は20分とします。
 - ・評価基準
 - ア 美術文化専攻への志望動機が明確で、勉学意欲が高いこと。
 - イ 自己推薦の内容、発展的な展望などを説明できること。
 - ウ 質問に的確に応答するなど、適切なコミュニケーション能力を持っていること。
 - エ 今日の美術文化に対して考えを深めていること。
- (3) スポーツ文化専攻
 - 小論文
 - ・試験時間 90分
 - ・評価基準 設問に対する理解力、論理構成力、表現力等を総合的に評価します。
 - 個人面接（口頭試問を含む。）
 - ・試験時間 15分程度
 - ・評価基準
 - ア スポーツ文化専攻への志望動機が明確で、目的意識が高いこと
 - イ 「スポーツ活動実績型区分」を志願する者は、スポーツ科学に関する高い関心を持っていること
 - ウ 「野外環境教育実績型区分」を志願する者は、自然体験活動、野外教育、環境教育、野外活動に関する分野および環境問題、環境保全、地域活性化に関しての高い関心を持っていること
 - エ 一般常識を持ち、時事問題に関して高い関心を持っていること
 - オ 質問内容に即して回答できるなど、適切なコミュニケーション能力を持っていること

10 入学試験における不正行為について

本学のすべての入学試験において、以下の不正行為が確認されましたら、警察に被害届を提出する場合があります。

- ・受験票等に本人以外の写真を貼ることや解答用紙等に本人以外の氏名・受験番号を記入すること。
- ・カンニング（試験時間中、試験に関係するメモやコピー及び書籍類などを机上等に置いたり見たりすること、他の受験者の答案等を見ることや答えを教わるなど）
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・試験開始前、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・試験時間中、試験監督から指示された物以外の所持品を出したり触っていること。
- ・試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。（ただし、これらの使用が認められている場合を除く。イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとみなします。）
- ・試験終了時、試験監督から解答をやめるよう指示されたが、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- ・その他、入学試験の業務を妨げる行為を行うこと。

これら不正行為を行った受験者については、試験時間中に確認された場合はその時点から受験が取り止めとなり、当該入学試験の成績は無効となります。

また、試験終了後に確認された場合は選考の対象となりません。

11 合格者の発表

合格者の発表については、出願サイトにより本人に合否を通知する他、合格者の受験番号を発表時刻以降に本学ホームページに掲載します。

北海道教育大学ホームページURL <https://www.hokkyodai.ac.jp/>

※ 本学ホームページが表示されましたら、ブラウザの更新ボタンを押してからご覧ください。
合否についての電話等による問い合わせには、応じません。

12 入学辞退、不合格になった場合の特別選抜及び一般選抜（個別学力検査等）への出願

(1) 入学辞退について

特別の事情があり、入学を辞退する場合は、令和8年2月18日（水）までに本学学長あてに「自己推薦入試入学辞退願」（様式自由）を提出してください。

(2) 不合格になった場合の一般選抜（個別学力検査等）等への出願について

ア 選考の結果、不合格になった場合には、国公立大学・学部（本学を含む）の一般選抜（「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、公立大学・学部の「中期日程」の合計三つの国公立大学・学部）に出願することができます。

なお、その際は、志望大学の出願要件等に留意してください。

イ 本学の一般選抜等に出願する場合は、本学ホームページ等から学生募集要項を入手し、各選抜の受付期間内に出願書類を提出してください。

13 入学手続

合格者の入学手続きについては、後日案内する入学手続きシステムにより行っていただきます。

入学手続の詳細（提出書類及び納入金の納入方法等）については、合格者へ別途お知らせします。

(1) 入学手続期間 令和8年2月11日（水）～2月18日（水）（必着）

入学手続きシステムで指示された方法で入学手続き・入学料の支払いを行い、併せて、必要な書類を「書留・速達」便により、入学手続期間内に必ず到着するよう、送付してください。

※持参の場合の受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。

(2) 提出書類

合格通知時に指示した書類

大学入学共通テストに出願している者は、その受験票のコピー

(3) 納入金

入学料 282,000円

(注) ① **上記の金額は現行の金額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。**

② 入学料は、入学手続期間内に納入してください。

③ 納入した入学料は、返還しません。

④ 入学料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

(4) 留意事項

ア 合格者が入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

イ **本学の総合型選抜（自己推薦入試）に合格し入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部の「前期日程」, 「後期日程」又は公立大学・学部の「中期日程」の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。**

また、他の国公立大学に入学手続をしたときは、これを取り消して本学に入学手続をすることができません。

14 授業料

授業料 535,800円（年額）

① **上記の金額は現行の金額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。**

② 授業料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

15 入学時における麻しん（はしか）・風しん等ワクチン接種歴の確認について

合格となった場合、入学前にWeb上の「健康調査票」の中で、麻しん（麻疹）、風しん、水痘（みずぼうそう）、ムンプス（流行性耳下腺炎・おたふくかぜ）のワクチン接種歴をお尋ねいたします。それぞれのワクチンの接種回数、接種年月日を、母子健康手帳やワクチン接種証明書などにより確認し、ご回答ください。

本学では麻しん・風しんワクチンを2回接種していることを推奨しています。

麻しん・風しんワクチンの2回接種には、次のような場合があります。

・MRワクチン2回

・MRワクチン1回、麻しんワクチン1回、風しんワクチン1回

・麻しんワクチン2回、風しんワクチン2回

※MRワクチンとは、麻しん風しん混合ワクチンです。

16 受験に関する問い合わせ

受験に関する問い合わせは、必ず志願者本人が行ってください。（9ページの問い合わせ先を参照してください。）

17 入学試験成績等の開示について

(1) 開示請求の手続き等

次の要領により開示します。

- ・開示期間 令和8年4月13日(月)から5月15日(金)まで
- ・開示方法 出願システムで試験成績を開示します。
詳細については、後日お知らせします。

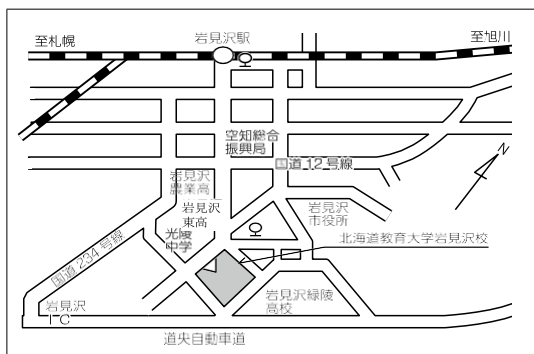
(2) 開示内容

- ア 合格ランク
- イ 総合評価

18 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「個人情報保護に関する基本方針」及び「国立大学法人北海道教育大学個人情報等取扱規則」を定め、個人情報の保護に取り組んでいます。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格者発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等に関する調査・研究業務、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) その他本学における個人情報の取扱いにつきましては、本学のホームページをご覧ください。

試験会場位置図



名称 北海道教育大学岩見沢校

所在地 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1

交通案内

JR「岩見沢駅」から中央バス（かえで団地循環線（東高先回り：系統1）、南町・春日循環線（市役所先回り：系統10）、いわみざわ公園線（系統13）、岩見沢栗山線（教大前経由：系統27））で約10分～15分、「教大前」下車、徒歩2分

※ 運行時刻等は、各自でお調べください。

北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則

制 定 令和2年3月31日
令 和 元 年 規 則 第 40 号

(趣旨)

第1条 この規則は、災害により被災した者の経済的負担を軽減し、進学機会を確保するため、北海道教育大学（以下「本学」という。）の学部、大学院又は養護教諭特別別科の入学者選抜試験（研究生、科目等履修生又は聴講生に係るものを除く。）の検定料（以下「入学検定料」という。）に対する特別措置を定める。

(特別措置)

第2条 次の各号のいずれかに該当する入学志願者であって学長の許可を受けた者に対しては、納入された入学検定料の全額（ただし、第6号に掲げる者については、学長が別に定める額）を返還する。

- (1) 東日本大震災により自ら又は生計維持者（以下「入学志願者等」という。）の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
- (2) 東日本大震災により生計維持者が死亡し、又は行方不明となっている者
- (3) 東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、同事故発生時における入学志願者等の居住地が、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (4) 次条の提出期限の日から過去3年以内に発生した次に掲げる災害により、入学志願者等の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
 - ア 入学志願者等の居住地に災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用された災害
 - イ 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）に基づき激甚 災害に指定された災害
- (5) 生計維持者が、前号の災害により死亡し、又は行方不明となっている者
- (6) 学長が特に指定した者

(申請手続)

第3条 前条の許可の申請は、許可を受けようとする入学志願者が、次の各号に掲げる書類又は写し（ただし、前条第6号に該当する者に係る書類については、別に定める。）を添えて、別に大学が定める提出期限の日までに、入学検定料返還許可申請書（別記様式）を学長に提出することにより行うものとする。

- (1) 前条第1号又は第4号に該当する場合 災証明書
- (2) 前条第2号又は第5号に該当する場合 生計維持者の死亡又は行方不明を証明する書類
- (3) 前条第3号に該当する場合 被災証明書

(許可の取消し)

第4条 前条により提出された書面に虚偽の記載があり、又は重要な事実の記載が欠けていることが判明したときは、学長は、第2条の許可を取り消す。

2 前項により許可を取り消された場合は、返還された入学検定料を改めて納付しなければならない。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、入学検定料に対する特別措置に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年3月31日から施行する。

なお、本学では上記の規則に基づき、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、災害救助法等が適用されている地域において被災した入学志願者に、入学検定料返還の特別措置を行っています。詳細は次のURLの【入試に関するお知らせ】に掲載していますので、ご確認いただき、該当する方は申請してください。

URL:<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>

「北海道教育大学基金」による奨学金について

本学は、次代を担う子どもたちを教育する優れた教員を養成する「教員養成課程」、国際的視野をもって地域を活性化できる人材を養成する「国際地域学科」及び芸術・スポーツ文化を多面的に追求し、地域活性化に貢献できる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の一つの課程と二つの学科を設置しています。人材の養成には、教育体制や教育環境の整備の他に、安心して自ら勉学に励み優れた資質・能力を身につけようとする者に対する財政的な支援策が求められています。

「北海道教育大学基金」は、企業、同窓会、地域の方々、本学教職員などからの寄附金により設立されたもので、寄附者の方々の意向に基づき、その原資及び果実を元に、成績優秀な学生や経済的事由により修学困難な学生を対象とした奨学金給付事業を行っています。

詳細は、入学後にお知らせします。

高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

令和2年4月から国の新しい修学支援制度がはじまり、入学料・授業料の減免（免除又は減額）と給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援をあわせて受ける制度となります。

この支援制度は、世帯の収入などの要件とともに、高校や大学の成績だけでなく、明確な進路意識と強い学びの意欲、学修状況等をしっかりと確認した上で学生に対して支援するものです。

※世帯の収入などの要件により、区分に応じて以下のとおり入学料と授業料の免除又は減額と、自宅、自宅外通学の状況により、奨学金が給付されます。

【単位：円】

	入学料減免額	授業料減免額		給付奨学金給付額（月額）	
		（半期分）	（年 額）	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分 （満額の支援）	282,000	267,900	535,800	29,200 (33,300)	66,700
第Ⅱ区分 （2/3の支援）	188,000	178,600	357,200	19,500 (22,200)	44,500
第Ⅲ区分 （1/3の支援）	94,000	89,300	178,600	9,800 (11,100)	22,300
第Ⅳ区分				7,300 (8,400)	16,700
多子世帯	282,000	267,900	535,800	家計状況により 上記月額のいずれ かまたは無し	家計状況により 上記月額のいずれ かまたは無し

※給付奨学金について、生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません。）で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

※多子世帯については、子ども3人以上を扶養する世帯の学生が対象となり、入学料及び授業料は全額免除となりますが、給付奨学金の給付額については、家計状況により別途決定されます。

※第Ⅰ区分：申請者と生計維持者の市町村住民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

第Ⅳ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上～154,500円未満であること

※ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除等の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。

入学料・授業料の徴収猶予制度

経済的理由により、入学料・授業料の納入が困難な場合、徴収猶予する制度があります。

日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）

本学では、日本学生支援機構奨学生募集について、各キャンパスで周知しています。

◇ 奨学金の種類と募集時期等（2025年度採用者）

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸 与 月 額	
第一種奨学金 【無利子貸与】	定期採用	4・9月	自 宅	自 宅 外
	緊急採用	随時	2万円・3万円 4万5千円から選択	2万円・3万円・4万円 5万1千円から選択
第二種奨学金 【有利子貸与】	定期採用	4・9月	2万円～12万円から1万円単位で選択	
	緊急採用	随時		
併 用 貸 与	第一種奨学金申込みの学力基準を満たしており、経済的理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます。			
入 学 時 特 別 増 額 貸 与	第1学年入学者又は編入学者で条件を満たす者に対して、希望により貸与月額の初回振込時に10～50万円(10万単位)の金額から選択して増額貸与を受けることができます。			

【定期採用】

4月・9月頃に本学の各所属キャンパスにおいて申込を受け付けています。

【緊急採用・応急採用】

家計の急変（主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気もしくは死亡等。又は火災、風水害等の災害等）によって奨学金を緊急に必要とする者に対して、随時募集を行っています。

◇ 本学の奨学生数

令和7年3月1日現在

学年・種別 校名	1年		2年		3年		4年		計			
	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種		
札幌校	学生数		281人		275人		284人		303人		1143人	
	奨学生数		44人	43人	43人	40人	55人	27人	32人	32人	174人	142人
	%		31.0%		30.2%		28.9%		21.1%		27.6%	
旭川校	学生数		285人		285人		276人		292人		1138人	
	奨学生数		67人	57人	71人	55人	72人	46人	58人	60人	268人	218人
	%		43.5%		44.2%		42.8%		40.4%		42.7%	
釧路校	学生数		199人		182人		185人		196人		762人	
	奨学生数		52人	41人	57人	49人	52人	44人	44人	45人	205人	179人
	%		46.7%		58.2%		51.9%		45.4%		50.4%	
函館校	学生数		307人		296人		290人		325人		1218人	
	奨学生数		87人	65人	80人	69人	78人	51人	68人	50人	313人	235人
	%		49.5%		50.3%		44.5%		36.3%		45.0%	
岩見沢校	学生数		189人		182人		186人		200人		757人	
	奨学生数		49人	34人	29人	35人	32人	43人	32人	42人	142人	154人
	%		43.9%		35.2%		40.3%		37.0%		39.1%	
計	学生数		1261人		1220人		1221人		1316人		5018人	
	奨学生数		299人	240人	280人	248人	289人	211人	234人	229人	1102人	928人
	%		42.7%		43.3%		41.0%		35.2%		40.5%	

(学生数は令和6年10月1日現在)